

『あかちゃんえほん』掲載絵本リスト

書名	著作名	出版社	紹介文
1 あのほん	ひぐち みちこ // 作	こぐま社	1月に生まれたあかちゃんが3月に「あ」と言いました。おかあさんは赤ちゃんの言った「あ」から、空想をひろげ赤ちゃんとお話しします。あかちゃんは何をお話しているのでしょうかね。
2 いいきもち	ひぐち みちこ // 作	こぐま社	小さなたねは土に、花は風に、さかなは水に、そして赤ちゃんはお母さんにだっこされて、いいきもち。優しい色合いの絵で描かれた、心が温くなる絵本です。
3 いないいないばあ	松谷 みよこ // ぶん 瀬川 康男 // え	童心社	にやあにやが、いないいない…ばあ。くまちゃんが、いないいない…ばあ。ねずみさんも、こんこんぎつねも、いないいない…ばあ。今度はだれかな？お子さんと一緒に、いないいない…ばあ。
4 おさじさん	松谷 みよこ // ぶん 東光寺 啓 // え	童心社	おやまをこえて、のはらをこえて、おさじさんがやって来ました。「ぼくはおさじさん おいしいものを おくちへはこぶきしゃぼつぽ」と言いながらおさじさんは、やさしくうさぎのぼうやの食事をお手伝いします。
5 おしり	三浦 太郎 // 作	講談社	あひるやぶた、ゾウのおしりができます。ふわふわだったり、まん丸だったり、大きかったり。わたしのかわいいおしりもできます。みんなのおしりはどんなかな？
6 おててがでたよ	林 明子 // さく	福音館書店	おきがえ中の赤ちゃん。服にかくれてなんにもみえない。あれ あれ あれおててはどこかな。読みながら、おてて、あたま、おかお、あんよと一緒に「どこかな」と探してみてください。
7 おにぎり	平山 英三 // ぶん 平山 和子 // え	福音館書店	アツアツのごはんを、ぎゅっぎゅっぎゅっとにぎって、なかには何が入っているのかな？おいしそうなおにぎりのできあがり。これからどこにお出かけしようかな。
8 おふろ	いもと ようこ // 作・絵	金の星社	あわあわ、ぶくぶくとっても気持ちよさそうです。あれあれ、誰かがかくれんぼしているよ…見つけてみよう。お風呂の時間が楽しくなるような、心も体もあたたまる絵本です。

9	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸 // さく	福音館書店	<p>汽車が「がたん ごとん がたん ごとん」と走り、ほにゅうびん、コップ、スプーン…と乗せていきます。終点はどこでしょう。</p>
10	きんぎょがにげた	五味 太郎 // 作	福音館書店	<p>きんぎょがぴよんとにげだしました。「きんぎょさんどこへにげたのかな〜？」カーテンのもようの中や、お花、キャンディのびんの中など、にげたきんぎょを親子でさがしてみましよう。</p>
11	きんぎょさんとめだかさん	とよた かずひこ // 作	世界文化社	<p>きんぎょさんとめだかさんがぐるっと回って「いちに、いちに」こんどはうでをいっばいのぼして、「ひらひらひらひら」手遊びを楽しみながら、きんぎょさんとめだかさんと、一緒にやってみてね。</p>
12	くだものさん	tupera tupera // さく	Gakken	<p>果樹園でくだものさんがかくれんぼ。さあ、どこにいるのかな。しかけで楽しくくだものの実り方がわかる絵本です。</p>
13	じゃあじゃあびりびり	まつい のりこ // 作・絵	偕成社	<p>かわいい絵から出る音や鳴き声を、お母さんが楽しく読んであげることで、とにかく楽しい気持ちになります。いろいろな物に音の違いがあることを知り、興味がわいて一緒に声を出して楽しめる本です。</p>
14	しろくまちゃんのほっとけーき	森 比左志 // 作 わだ よしおみ // 作 わかやま けん // 作	こぐま社	<p>しろくまちゃんとお母さんが、ホットケーキを作ります。ぼたあん、どろどろ、びちびちびち、ぶつぶつ、やけたかな…。まあだまだ…。</p>
15	たまごのあかちゃん	かんざわ としこ // ぶん やぎゅう げんいちろう // え	福音館書店	<p>たまごのなかで、かくれんぼしているあかちゃんはだあれ？でておいでよ。にわとり、かめ、へび、ぺんぎん、きょうりゅうがでてきて…。 リズムカルな問いかけとパターンによる繰り返しの会話が楽しい。</p>
16	だるまさんが	かがくい ひろし // さく	ブロンズ新社	<p>赤い色のだるまさんが、のびたり、ちぢんだり。誰かさんにちょっとにているだるまさん。だるまさんのユーモラスなうごきと表情に、赤ちゃんだけでなく、パパとママも、ひきつけられてしまうかも。</p>
17	チキカンゲー	樋勝 朋巳 // 作	こぐま社	<p>チキカーン、チキカーン、チキカーンゲー！不思議な言葉とリズムに合わせて、みんなで行進しよう。読んでいると自然に笑顔になってくる楽しい絵本。</p>

18	どうぶつのおやこ	藪内 正幸 // 画	福音館書店	ていねいに描かれた動物たちが、親子で次々と登場します。「おはなが長くて、目がちっちゃいね。ぞうさんだよ。」などと文章がない分、読み手の自由な語りかけで楽しめる絵本。好きな動物は何か？
19	どすこーい	山岡 ひかる // 作	アリス館	転びそうでも、元気がなくても、「どすこーい」のかけごえがあれば、みんな元気にピン！体も心もぼっちりきまります。さあ、みんなで「どすこーい」！
20	ととけっこう よがあげた	こばやし えみこ // 案 ましま せつこ // 絵	こぐま社	ニワトリが「ととけっこう よがあげた」とわらべうたをうたうと、ひよこ、こねこ、こぶた・・・が目覚めます。お子さんに歌ってあげたら、元気に目覚めるでしょう。
21	とりがいるよ	風木 一人 // さく たかしま てつを // え	KADOKAWA	あかいとり、あおいとり、大きなとり、小さなとり、長いとり、沢山のとり...さあ、見つけられるかな？形、色、大きさ、長さ、数の違いを楽しく覚えられそうな絵本です。
22	どんないろがすき	100%ORANGE // 絵	フレーベル館	きみのすきなものはなに色かな？かわいらしいイラストで、お子さんと楽しく歌を歌いながら色をおぼえられます。
23	なでなでももんちゃん	とよた かずひこ // さく・え	童心社	おなかが痛いと言っているももんちゃん達。そのおなかを優しくなでなですると、治ったみたいと笑顔になってくれます。お子さんと一緒になでなでよよししてあげてください。
24	ならんでならんで	西川 季岐 // さく	エンブックス	色とりどりの丸や四角や棒たちが、号令に合わせてならびます。かたちや色や言葉で遊びながら楽しめる絵本です。
25	ねないこだれだ	せな けいこ // さく・え	福音館書店	夜中に起きているのは・・・ふくろう みみずく ぐろねこ どのねこ どのぼう。夜中は おばけの時間。 夜中にあそぶ子は どうなるのかな？
26	はしるのだいすき	わかやま しずこ // さく	福音館書店	はしってくるのはだれかしら？チーター、しまうま、ライオン・・・いろいろな動物がいろいろな音を立てて走って来ます。動物たちのイメージや走り方、習性などがさりげなくわかります。

27	バスうんてんしまーす！	ひらぎ みつえ // 作・絵	金の星社	きみはバスのうんてんしゅ！あれはなにかな？おひざにお子さんをのせて、絵本をハンドルのように動かすと、まるでバスから見ているような景色が見えます。
28	バルンくん	こもり まこと // さく	福音館書店	ぼくはじどうしゃのバルンくん。さあでかけよう。バルン バルン バルバルバルーっ！どんな道でも走っていくよ。たくさんのおなまといっしょに、ならんで走ろう。
29	ひだりみぎ	新井 洋行 // 作・絵	KADOKAWA	ほんの上に、ひだりてとみぎてをのせて。さあ、うごかしてみよう！ひだりてでいちごをつまんで、みぎてでたいこを「どーん」お子さんが楽しみながら自然に「ひだり・みぎ」を身に付けることができる絵本です。
30	フルーツめしあがれ	視覚デザイン研究所 // さく 高原 美和 // え	視覚デザイン研究所	フルーツめしあがれ。何のフルーツが好き？バナナ？みかん？ぶどうもあるよ。夏はスイカもいいね。どのページを見ても手をのばしたくなるおいしそうなおフルーツがいっぱい！さあ、フルーツめしあがれ！
31	ぼうしかぶって	三浦 太郎 // さく・え	童心社	なすのとうさん「たたたたた」、パイナップルのにいさん、「どどどどど」。みんな元気に、すてきなぼうしをかぶって、いってきまーす。ぼうしをかぶって一緒におでかけしたくなるような絵本です。
32	ほっぺにちゅ	新井 洋行 // 作	童心社	ほっぺにちゅっとすると、みんなのおかおはどうなるかな？「ほっぺにちゅ」は、大好きなきもちのしるし。親子のふれあい生まれる絵本です。
33	ぼんちんぱん	柿木原 政広 // 作	福音館書店	「ぼんぱん しょくぱん ぼんちんぱん」とリズムカルな言葉が続き、食パンやドーナツに顔が現れます。声に出して読むと楽しいです。食べ物に興味を持ち始めたお子さんにおすすめです。
34	まる、しかく、さんかく	ディック・ブルーナ // ぶん・え まつおか きょうこ // やく	福音館書店	まわりにはたくさんのまる、しかく、さんかくがあります。赤ちゃんにも見分けやすい、はっきりとした形とスッキリした色使いで、形見つけをするのが楽しくなる絵本です。
35	もこ もこもこ	たにかわ しゅんたろう // さく もとなが さだまさ // え	文研出版	しーんとした、そらと地面だけの絵。もこもことへんなものがあらわれて…？色彩が微妙に変化していきます。

36	よくきたね	松野 正子 // ぶん 鎌田 暢子 // え	福音館書店	動物のお母さんが子どもを「おいでおいで」「よくきたね」と抱きしめます。はいはいやあんよができる頃、いっしょに読んでみると心がほっこりしますよ。
----	-------	---------------------------	-------	---